

令和3年度
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)
成果報告書

団 体 名	公益財団法人鹿児島県文化振興財団	
施 設 名	霧島国際音楽ホール（みやまコンセール）	
助 成 対 象 活 動 名	公演事業・人材養成事業・普及啓発事業	
内 定 額 (総 額)	7,031	(千円)
	公 演 事 業	2,020 (千円)
	人 材 養 成 事 業	3,125 (千円)
	普 及 啓 発 事 業	1,886 (千円)

(1) 令和3年度実施事業一覧【公演事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目, 主な出演者, スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	ミシェル・ダルベルト with みやまアンサンブル	R3年9月19日(日) 中止※	ピアノ協奏曲ト長調(ラヴェル) 等, ピアノ独奏・指揮: ミシェル・ ダルベルト, みやまアンサンブル 28名, 制作協力: 古澤昌晃 新型コロナウイルス感染症により中 止。	目標値	500
		霧島国際音楽ホール (みやまコンセール) 主ホール		実績値	- ※

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(2) 令和3年度実施事業一覧【人材養成事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目, 主な出演者, スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	みやま音楽アカデミー I 「みやま音楽塾」	R3年6月19日(土) ~20日(日) みやま出張音楽塾	受講団体: 川上小学校, 山下小学校 器学部, 龍桜高等学校, 計168人, 講師: 海老原光	目標値	1,300人 (延べ数)
		川上小学校, 山下小学校 器学部, 龍桜高等学校		実績値	892 ※
		R3年8月8日(日) ~R4年2月29日(日) みやま音楽塾 (全16回中一部中止) 霧島国際音楽ホール (みやまコンセール) 主ホールほか	参加者数: 31人, 監修・講師: 海老原光, 講師: みやまコンセール事業 課職員他		
2	みやま音楽アカデミー II 「BEAT MONSTERS」	R3年11月13日(土) 中川英二郎によるクリニック	受講生: 県内中・高生, 一般の16人, 講師: 中川英二郎	目標値	500名
		かごしま県民交流センター		実績値	218 ※
		R3年11月14日(日) 霧島国際音楽ホール (みやまコンセール) 主ホール	ファイナル・ファンタジー・メイン テーマ等, 出演: 中川英二郎, 川村 竜, 宮本貴奈, 庵原良治, 鈴木直人, 髭白健, 制作協力: 小倉慎司		

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(3) 令和3年度実施事業一覧【普及啓発事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目, 主な出演者, スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	ミニ・コンサート	R3年4月20日(火)～ R4年3月8日(火) (全42回)	出演:みやまコンセール協力演奏家, 企画・調整:西村彬, 舞台技術:村 場盛義	目標値	3,580人
		霧島国際音楽ホール (みやまコンセール) 主ホール		実績値	4,793 ※
2	みやま「さてらいとコン サート」	R3年11月2日(火)	出演:みやまコンセール協力演奏家, スタッフ:内真奈美 等	目標値	1,000人
		頰娃中学校		実績値	757 ※
		R3年11月7日(日)			
		霧島温泉市場			
		R3年11月13日(土)			
		牧之原中学校若駒分校			
		11月16日(火)			
		根占中学校			
11月16日(火)					
第一佐多中学校					

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

2. 自己評価

(1) 妥当性

自己評価
<p>社会的役割等（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。</p>
<p>当ホールは県民の音楽文化の振興と音楽を通じた国内外の人流促進を図ることを主目的として設置された音楽専門ホールである。そこで、公演事業では前々年度から事業計画を組み立て始めアンケート調査の回答や過去の自主事業の公演ジャンルと比較しながらジャンルを検討し、質の高い音楽を提供するため前年度中にアーティストの選定をプロモーターと調整している。公演事業では「ミシェル・ダルベルト」を9月19日に招聘しピアノ協奏曲等予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止による渡航制限のため8月10日に中止を決定した。</p> <p>また、人材育成事業では、「みやま音楽塾」を計画、実施することで県民の生涯学習を支援するとともに、演奏技術のスキルアップや次代を担う若手の演奏家の育成を目指している。今回7回目の実施でありカリキュラムも緻密にできあがりつつある事業である。こちらは8月の台風接近、8月下旬～9月のまん延防止等重点措置により、6回分の開催が中止または一部中止となったが、内容を精選し受講生の満足のいくような計画に変更して実施した。一方、「BEAT MONSTERS」の中川英二郎によるクリニックは、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み対象者を少人数に限定した計画へと変更し、会場も県立松陽高等学校から県民交流センターに変更して実施した。</p> <p>普及啓発事業では、当ホールが開館当初より大切にしている事業である「ミニ・コンサート」において、開催日1カ月前の初日までに申込みを受け付け、1カ月前に協力演奏家へ打診しプログラムを構成している。令和3年度もコロナウイルス感染症拡大の懸念により直前に延期や中止となったものが45公演あった。「みやまさてらいとコンサート」については、概ね予定どおりに事業を進めることができた。</p> <p>よって、社会的役割等（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられたが、当初の予定どおりに事業を進めることができなかった。</p>
<p>助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。</p>
<p>【文化的意義】</p> <p>当ホールには令和3年度現在、みやまコンセール協力演奏家が90名登録している。これら地元演奏家の協力を得ることで様々な企画を実施することが可能となり、本県の文化・芸術の水準向上に寄与している。また、演奏家にとっても演奏の場を増やす一助となっている。人材養成事業「みやま音楽塾」では、当ホール職員による講義に加え協力演奏家による実技レッスン、アンサンブル指導など展開することで音楽文化の伝承と創造のための教育研修機能を果たしている。また、公演事業に関しても協力演奏家で構成する室内オーケストラと世界的なアーティストとの共演により、演奏家のみならず県民に対しても興味・関心を惹き付ける起爆剤となっている。</p> <p>【社会的意義、経済的意義】</p> <p>普及啓発事業「ミニ・コンサート」では、一般客のほかに近隣の研修施設と連携して宿泊学習研修プログラムの一つとして活用されているほか、県内学校の修学旅行や各種研修旅行などでも活用されている。料金設定を高校生以下300円、一般500円とすることで、普段コンサートに来る機会の少ない小・中・高校生の利用がのべ4,051人にのぼり、全利用者の82.5%と多い。また、未就学児や特別支援学校、福祉就労施設団体など（のべ197人）地域社会に対してまんべんなく受け入れるという点で社会的に大きく貢献していると言える。同様に普及啓発事業「みやまさてらいとコンサート」においても、生の音楽を聴く機会の少ない遠隔地や児童自立支援施設での無料コンサートを開催することは社会的、経済的に意義が認められる。</p> <p>上記のことから、助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められる。</p>

(2) 有効性

自己評価

目標を達成したか。

1 公演事業「ミシェル・ダルベルト with みやまアンサンブル」

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、アーティストが入国制限のため来日できず、公演を中止とした。

2 人材養成事業「みやま音楽アカデミー」

(1) みやま音楽アカデミーⅠ「みやま音楽塾」「みやま出張音楽塾」**目標値：1,300人 実績値：892人** (延べ)

【みやま音楽アカデミーⅠ「みやま音楽塾」 受講生アンケートより】

①講座参加者数：受講生 31人 *内訳…中学生 12人, 高校生 10人, 大学生 2人, 一般 7人

②演奏上の悩みを解決し理解を深められたか：大いにできた (56%), できた (44%), あまりできなかった, できなかった (0%)…100%ができたと回答

③講座の満足度：満足 (84%), ほぼ満足 (16%), やや不満足, 不満足 (0%)…100%が満足と回答

演奏技術の基礎や音楽の基礎理論, 舞台運営など, 普段の学校や部活動では学べない内容で, 受講生の演奏力向上や音楽への理解を深めることにつながった。受講生の3割が2回目以上のリピーターであった。人数としては目標に達成していないが, 内容については目標を達成した。

【みやま音楽アカデミーⅠ「みやま出張音楽塾」】**目標値：5団体 実績値：3団体**

みやま出張音楽塾では講師に海老原光氏を招き, 吹奏楽における演奏のコツやポイント, 音楽への多面的なアプローチなど, 受講団体のニーズを踏まえ実施した講習であり概ね達成した。

(2) みやま音楽アカデミーⅡ「BEAT MONSTERS」**目標値：500人 実績値：218人** (クリニック含む)

①入場者数：202人

②コンサートの感想：大変満足 (85.9%), まあまあ満足 (5.4%), やや不満足, 不満足 (0%)…91.3%が満足と回答

③入場料：高い (1.1%), やや高い (8.7%), 手ごろ (80.4%), 安い (7.6%)…88.0%が「手ごろ」「安い」と回答

県内の高校生を対象にワークショップを計画したがコロナ禍により内容を変更した。少人数を対象としたクリニックを実施したことにより公演にも興味をもち 10代の来場者が 19%と新たな客層の開拓につながった。人数については目標達成には至らなかったが, コロナ禍の厳しい状況の下, 来場者や受講生から好評を博し有効性については目標を達成した。

3 普及啓発事業

(1) ミニ・コンサート **目標値：3,580人 実績値：4,793人**

①入場者数 (全 42回)：幼・保 (1団体) 83名, 小学校 (21団体) 1,365名, 中学校 (23団体) 1,740名, 高校 (8団体) 839名, 特別支援学校 (4団体) 80名, 一般 (4団体) 136名, 引率 550名 計 4,793名

②コンサートの感想：大変満足 (78.6%), まあまあ満足 (14.0%), やや不満, 不満足 (1.4%)…92.6%が満足と回答

③入場料：高い (3.4%), やや高い (6.1%), 手ごろ (68.5%), 安い (19.8%)…88.3%が「手ごろ」「安い」と回答

④興味：来たい (69.6%), 来たくない (4.5%), どちらとも言えない (17.8%)

各鑑賞団体の年齢や人数, 要望, 季節等に応じたプログラムやレクチャー内容の工夫に努め, 当ホールの特性を生かした親しみもてるコンサートを実施した結果, 令和3年度は42回開催することができ, 通算1221回となった。来場者アンケートでは, 92.6%の来場者から「満足」との回答を得られたと同時に, 「すごく響きよかった。」「もともと音楽に興味はなかったが, ミニ・コンサートを鑑賞して興味がわいた。」「音楽の歴史も知ることができて演奏も素晴らしかった。」等, 音楽への興味や生の音楽体験のよさ, 当ホールの音響のよさや解説を交えたプログラムに対する肯定的な意見が数多く挙げられた。

目標値, 有効性ともに目標を達成した。

(2) みやまさてらいとコンサート **目標値：1,000人 実績値：757人**

①入場者数：11/2 穎娃中学校 307名, 11/7 霧島温泉市場 230名, 11/13 若駒分校 20名, 11/16 根占中学校, 第一佐多中学校 200名, 計 757名

学校においてはコロナ禍により一般客の入場を制限し目標値には達しなかったが, いずれの会場においても来場者の反応がよく, 音楽のすばらしさや音楽の力を改めて伝える機会となり, 目標を達成した。

(3) 効率性

自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。

令和3年度に計画した事業は、アウトプットに対して事業期間は適切であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により公演中止や公演延期となったものがあり、当初の計画どおりに進むことはできなかった。

1 公演事業「ミシェル・ダルベルト with みやまアンサンブル」

本公演はプロモーターと共同で公演を制作したものである。緊密な連絡・調整が必要であり、プロモーター及び地元演奏家との連絡・調整を計画的に進めており、事業期間は適切であったが、アーティストが来日できず公演1カ月前に中止を発表した。

2 人材養成事業「みやま音楽アカデミー」

(1) みやま音楽アカデミーⅠ「みやま音楽塾」「みやま出張音楽塾」

「みやま音楽塾」では前年度のうちにカリキュラムを作成し、講習期間を半年とすることで受講生はじっくりと課題に向き合い取り組むことができた。しかしながら、全16回中6回が中止または一部中止となり、講習内容を変更せざるを得なかった。

「みやま出張音楽塾」では事業を短期間に設定するとともに、受講希望団体と調整を図ることで効率よく運営できるよう整備したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、5団体枠に対して3団体となった。

(2) みやま音楽アカデミーⅡ「BEAT MONSTERS」

新型コロナウイルス感染症の影響により受講人数を制限するため、中川英二郎のワークショップ会場を県立松陽高等学校から県民交流センターへと変更した。それ以外については、当初の計画どおりに進んだ。

3 普及啓発事業「ミニ・コンサート」、「みやまさてらいとコンサート」

希望月の前月1日までに申し込み、みやまコンセール協力演奏家の出演者を決定するという流れを滞りなく行うことができた。令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響でキャンセルまたは延期するという学校が相次いだ。

アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

令和3年度に計画した事業は、アウトプットに対して事業費は適切であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により公演中止や公演延期となったものがあり、当初の計画どおりに進むことはできなかった。

1 公演事業「ミシェル・ダルベルト with みやまアンサンブル」

【計画】4,797千円【実績】448千円(△4,349千円)

事業費は適切であったが、開催を見越して計画を進めていたため、広告宣伝費、印刷費、レンタル譜賃借料が計上された。

2 人材養成事業「みやま音楽アカデミー」

【計画】7,946千円【実績】9,158千円(1,212千円)

事業費は適切であったが、プロモーターとの調整がうまくいかず、当初予算にはなかった照明費が計上された。

3 普及啓発事業「ミニ・コンサート」、「みやまさてらいとコンサート」

【計画】4,970千円【実績】3,247千円(△1,894千円)

事業費は適切であったが、「ミニ・コンサート」では新型コロナウイルス感染症拡大による公演の見送り・キャンセル等により、公演数が10公演ほど少なく出演費が減となった。また、「みやまさてらいとコンサート」についても、予定公演数より減となり、また、宿泊費を抑えたことで減となった。

(4) 創造性

自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

【劇場・音楽堂等の資源・実施事業の成果と反映】

1 公演事業「ミシェル・ダルベルト with みやまアンサンブル」

本事業は平成 28 年度から展開している協奏曲を中心としたプログラムで、ソリストと当ホールの協力演奏家が一体となって音楽をつくる創造性溢れる事業である。これにより、優れたソリストの演奏を味わうことはもとより、地元の演奏家に刺激を与え、演奏力や表現力の向上につながる事が期待できる。また、プロとの共演が地元の演奏家の評価を高めるとともに、クラシック音楽のファン層を拡大できると考える。

2 人材養成事業「みやま音楽アカデミー」

(1) みやま音楽アカデミーⅠ「みやま音楽塾」「みやま出張音楽塾」

令和 3 年度で 7 年目となった本事業は、当ホールの舞台監督及び芸術文化専門員（音楽科教諭経験者）による楽典や音楽史、ソルフェージュなどの講義に加え、協力演奏家による実技レッスン、合奏・アンサンブル指導、音響や照明などの舞台業務体験、演奏会の企画・運営体験などの講座を通して音楽を幅広く多岐に渡って学ぶ企画である。これらは複数の練習室を持つこと、音楽科教諭経験者が常勤していること、多くの協力演奏家が所属していること、舞台技術者が常駐していることなど、当ホールの特性があるからこそ実現可能な事業であり、資源をうまく活用している事業である。また、受講者も中・高生から社会人まで幅広い年代で構成され、受講生相互の交流を深めながら音楽の楽しさを存分に味わうことができる事業を展開できる。

その結果、演奏技術の基礎や音楽の基礎理論、舞台運営など、普段、学校や部活動では学べない内容を学ぶことにより、受講生の演奏力向上や音楽への理解を深めることにつながった。また、修了演奏会においても多くの県民が来場し、本事業の価値や学びを継続することの大切さを指摘する声が多く挙げられた。さらに、この受講生の卒業生が県内で活躍するアーティストにも成長している。

(2) みやま音楽アカデミーⅡ「BEAT MONSTERS」

中川英二郎の演奏を間近で聴き、直接指導を仰ぐことにより、受講者の音楽表現に対する意欲の高まりが期待されたが、実際に受講した高校生からも感動や強い意志の現れる声が聞かれた。音楽を目指す学生や協力演奏家、音楽指導者等の参加も得られ、未来の鹿児島県の文化芸術を担う人材育成に寄与する事業となった。

3 普及啓発事業「ミニ・コンサート」、「みやまさてらいとコンサート」

当ホールの「ミニ・コンサート」、「みやまさてらいとコンサート」は、県民の音楽文化の振興・普及を推進するために、当ホールを利用したくてもなかなか利用できない遠隔地の県民や、若年層に対する質の高い音楽の提供といった視点で極めて重要な事業と捉えている。舞台監督及び芸術文化専門員が司会を務め、協力演奏家によって演奏するスタイルは、実施団体への事後アンケートでも事業に対する評価を得るとともに、クラシック音楽のよさを指摘する声や今後の音楽鑑賞への意欲の高まりが感じられる声が多く挙げられた。

以上のように、県民の音楽文化への関心やニーズを踏まえ「県民が聴きたい音楽」、「県民に聴いてほしい音楽」の両面のバランスを考慮しながら、世界に誇る音楽専門ホールにふさわしい質の高い音楽鑑賞事業を行うことができた。また、これからの音楽文化を担う人材養成や県内各地域への文化芸術普及のための事業の充実により、県全体の音楽教育、音楽活動・研修等への支援はもとより音楽文化の更なる振興を図ることができたと考えられる。

よって、これらの事業は地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であったと認められる。

自己評価

地域の実演芸術等の振興など、地域の文化芸術の発展につながった（と認められる）か。

1 公演事業「ミシェル・ダルベルト with みやまアンサンブル」

公演中止により、出演予定者だった協力演奏家や来場予定者から公演の中止を惜しむ声が多く聞かれた。

2 人材養成事業「みやま音楽アカデミー」

(1) みやま音楽アカデミーⅠ「みやま音楽塾」「みやま出張音楽塾」

【開催後のアンケートより（総回答数 31）】

- ・ 今年は何度も少なかったですが、ソルフェージュなど基本的なことからまた学べて良かったです。ただ歌うよりも、歌詞をかみ砕いて、どんな感情なのか考えたり、ゲネプロでの海老原先生による“言葉で歌う”というご指導だったり、まるで、1つの映画のように、たくさんの思いの詰まった合唱をみんなで歌うことができ、本当に良かったです。音楽塾では、他ではめったにできないようなことばかりさせていただけて、3年前、みやま音楽塾という存在に出合えて本当に良かったなと思っています。たくさんの新しい発見や学び、素晴らしい仲間、先生方に出会わせてくれた音楽塾に本当に感謝しています。ありがとうございました。ここで学んだことを糧にして、またいろいろなことにチャレンジしていきたいと思います。

【アンケート分析】約30%がリピーターであり、継続して事業を展開することは地域の文化芸術の発展につながっている。また、協力演奏家がレッスンすることにより、刺激を受けるだけでなく憧れや目指す指標にもなっている。生涯学習の一助、また、音楽大学等への進学への一助となっていると考える。

(2) みやま音楽アカデミーⅡ「BEAT MONSTERS」

【開催後のアンケートより（総回答数 92）】

- ・ T bがすごく良かった！皆かっこよかった！！ドラムとか心に突きささるような、ドキドキした！今日はすごく楽しかった。生演奏でこんな近くで聴く機会があまりなかったため、すごくよかった。また来たいなって思った！素晴らしい一日をありがとう！！（自由記述 43 うち高評価 41）

【アンケート分析】10代とその家族での来場が多く、10代は25%を占めた。また、新規の観客が29.3%であり、新たな顧客獲得につながった。全体の88%から手頃な値段、安いとの回答があり、満足度がうかがえた。

3 普及啓発事業「ミニ・コンサート」, 「みやまさてらいとコンサート」

(1) ミニ・コンサート

【開催後のアンケートより（総回答数 444）】

- ・ ホール自体のすばらしさも然り、音楽家の皆様の技術も相乗効果で、大変心地良い時間でした。こういうひととき忘れてました。いいですね。また機会があればぜひ来ます！！ステキな時間をありがとうございました。（自由記述 346 うち高評価 337）

【アンケート分析】来場者の約80%が初めての来場であり、新型コロナウイルスの影響により県内の修学旅行プログラムの一つとして組まれることが近年増加している。また、可能な限り参加団体の希望に合わせて日程・時間調整を行いキャンセルや延期にも柔軟に対応することで、芸術に触れる機会を確保できた。また、協力演奏家も時代のニーズ・季節感・発達段階に応じた選曲等で技術向上にも努めており、アンサンブルも積極的に行い、協力演奏家同士の交流も深まっている。

(2) みやまさてらいとコンサート

【開催後の代表者感想より】

- ・ 私は、これまで生で音楽を聴くことがありませんでした。このコンサートで生まれて初めてみなさんの演奏を聴いて涙があふれました。（一部抜粋）

上記のことから、地域の実演芸術等の振興など、地域の文化芸術の発展につながったと認められる。

(5) 持続性

自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展する（と認められる）か。

当ホールは、県内の関係自治体、教育機関、音楽団体関係者及び地域の各種団体等との緊密な連携のもとに各種事業を実施してきており、事業の企画や施設管理・運営に精通している。

【事業運営】

事業部門では、単にマネジメント事業者が企画する公演を買取り自主事業として実施するのみでなく、来演者による県内の児童生徒や音楽団体に対する指導、アウトリーチコンサート等による交流や、来演者と地元演奏家との共演など、県内の教育機関や音楽団体・関係者等との緊密な連携のもとに各種事業を企画・実施しており、職員の配置等においても事業課長兼舞台監督をはじめ、県レベルの音楽団体の役員等も務める県派遣の芸術文化専門員（教員）を配置しており、専門知識や人脈を生かした魅力的な事業を効果的、効率的に実施できる。

【経営戦略】

職員は、施設管理や音楽教育及び音楽活動などの担当業務に精通するほか、業務マニュアルや職場研修等により、担当業務以外の業務にも十分対応でき、全員体制でホール運営に当たることができる組織体制となっている。また、指定管理者制度も運用しており、当ホールによる評価だけでなく、県による実績評価も行っている。

【人事戦略】

当ホールがもつ優れたノウハウを維持する上で、職員派遣制度の果たす役割が非常に大きいことから、職員配置については、職員派遣制度を前提として、財団職員、県派遣職員、霧島市派遣職員及び臨時職員の配置を継続している。県職員は3～5年、霧島市派遣職員は2～3年の在任を基準としている。

また、年度当初において、全国公立文化施設協会等が主催する各種研修会への参加計画を立て、職員の職務内容、経験年数に応じ最適な研修を受講できるようにしている。今年度は鹿児島県公立文化施設連絡協議会主催の公演の準備・設営、スタッフとの連携等の体験研修に参加した。

【ネットワークの構築】

九州類似ホール連絡会に在籍し、他館との意見交換や情報共有を定期的に行っている。また、当ホールの自主事業の計画決定や施設の利用促進を図るにあたり、県民有識者である鹿児島県内の音楽関係団体や文化団体・報道機関等のトップで構成される懇話会も設置している。さらに、霧島地域の各機関・団体等のその後の連絡を緊密に行う地域連絡会も設置している。

これらの戦略等において、職員人事評価シートの作成や面談の実施、課内会議の実施、事業計画書及び事業報告書の作成、観客アンケートの分析、評議委員会による事業検証や各種連絡会での意見交換をもとに改善を図っている。つまり、単にこれまでの事業内容や企画を踏襲することなく様々な人・機関・組織・行政と連携し、Check, Action を検証しながら次のPlan, Doへと生かしている。

上記のことから、事業を通じて組織活動が持続的に発展すると認められる。